

スペイン語圏の紹介

スペイン語の重要性

スペイン語は、現在のところ、スペインはもとより、赤道ギニア共和国、ラテンアメリカ 19 カ国「アルゼンチン、ボリビア、チリ、コロンビア、コスタリカ、キューバ、エクアドル、エルサルバドル、グアテマラ、ホンジュラス、メキシコ、ニカラグア、パナマ、パラグアイ、ペルー、ドミニカ共和国、ウルグアイ、ベネズエラとプエルトリコ（米国自治連邦区）」の公用語となっています。また、アメリカ合衆国の南部および西部の諸州でも広く用いられ、ニューメキシコ州では事実上の公用語となっています。これらの国々や地域のほかにもスペイン語が話される地域は世界中に広がっています。

そして、スペイン語の重要性は国際連合の 6 つの公用語の一つに数えられていることから明白ですが、国連以外にも、国際刑事警察機構 (ICPO) や欧州連合 (EU)、米州機構 (OAS)、南米諸国連合 (UNASUR)、アフリカ連合 (AU) や国際サッカー連盟 (FIFA) などの国際機関で公用語と認められています。スペイン語は、英語に次ぐ世界言語として政治や経済の分野で重要な役割を果たす可能性を秘めた言語ですが、その魅力はそれだけではありません。スペイン語が話されている広大な空間には多種多様な人々が住み、それぞれが独自の文化を形成しています。

スペイン語はどんな言語？

口語ラテン語を起源とするロマンス語系の言語であるスペイン語は、イタリア語やフランス語、ポルトガル語などと共通した言語構造をもっています。英語と最も違うのは、動詞が主語に合わせて変化する「活用」で



セビリアの大聖堂

すが、文法構造を理解しつつ基礎を固めていくことで、運用ができるようになっていきます。発音がしやすいこともスペイン語の特長でしょう。そしてスペイン語が理解できるようになると、ほかのロマンス語系の言語も意味の類推ができるようになるだけでなく、全く同じ単語もあるのに気づくでしょう。スペイン語圏でなにか興味があることを見つけたら、まずは言語を通して近づいてみてください。

スペインとラテンアメリカの魅力

スペインには、何があるでしょうか。ピカソやゴヤ、ベラスケスといった巨匠たちの作品が集まる芸術の旅、あるいは 19 世紀の末から 20 世紀初頭にかけて活躍した建築家ガウディの作品群でしょうか。バルセロナを中心に点在するアントニ・ガウディの作品は、サグラダ・ファミリアを初めとして優美な曲線と大胆な建築構造で私たちを魅了します。

それとも 711 年にイベリア半島に侵入したイスラム教徒たちが終焉を迎えた 1492 年、最後の砦としたグラナダのアルハンブラ宮殿でしょうか。独特の馬蹄形のアーチ、水鏡の技法が美しい庭園、扉を彩るアラベスク文様の緻密さと洗練された意匠は、私たちに全く異なった美のありようを見せてくれます。



アルハンブラ宮殿、グラナダ

いっぽう、ラテンアメリカに目を転ずれば、スペインが侵入するはるか以前にマヤやインカ、あるいはアステカといったすぐれた文明がすでにあり、ピラミッドや数々の文化遺産を訪ねて、高度な文明の足跡と先人たち夢の一端をたどることができます。

ペルーの高地にあるマチュピチュ遺跡は、19世紀末に発見されるまで、ひっそりとその姿を留めていましたが、未だに多くの謎に包まれています。そしてどうしてあんなに大きな、様々な絵が描かれたのだろうと考えずにはいられないナスカの地上絵もまた、先住民族の豊かな文化のひとつです。このような古代文明の遺跡を訪ねるだけでなく、現代の旅もまた魅力的です。コスタリカは、エコツーリズムの発祥の地とされていますが、豊かな自然環境で生息する極彩色の鳥たちの姿を目にし、声に耳を傾けて、しばし自然の一員となる経験も得がたいでしょう。



マヤ文明のティカル遺跡、グアテマラ

スペイン語と日本語の共通点

1. **母音の数が同じ。** スペイン語は日本語同様、「A(あ)E(え)I(い)O(お)U(う)」の5つです、しかも、発音の仕方も日本語とほぼ同じです。「U」だけ、日本語の「う」よりもやや強くすぼめる感じで発音すれば、もう完璧です。子音もほとんど日本語の発音と同じように発音すればいいので、発音で苦勞することはほとんどありません。更に音節単位でもローマ字読みに近い発音なので、いくつかの子音の発音の違いやルールを覚えてしまえば、スペイン語の読み方が分かるようになります。発音が似ているので、同じ音で意味の異なる単語もたくさんあります。例えば、

バカ	(vaca)	牛	カマレロ	(camarero)	ウエイター
タベルナ	(taberna)	居酒屋、飲み屋	ダメ	(dame)	私にちょうだい
モコ	(moco)	鼻くそ			

一方で巻き舌ができない人は、巻き舌の「R」の発音で苦勞するかもしれません。しかし、ネイティブでも巻き舌ができない方もいるため、巻き舌ができなくてもネイティブは意外と寛容です。

スペイン語と日本語の相違点

1. 「**男性形**」や「**女性形**」があること。

「男性形」や「女性形」があると聞くと「何か難しそうだな…」と思われるかもしれませんが、そんなことは全くありません。実はごく一部の例外を除いて、「男性形」や「女性形」には規則があるので、規則を覚えれば簡単にどちらかが分かります。ちなみに、分かりにくい単語は、女性形であることが多いです。

2. **スペイン語は主語によって動詞の形が変わる。** スペイン語はなんと主語によって動詞の形が変わります。勉強するという意味の estudiar を例にしてみると、

Yo (私)	estudio	Nosotros (私達)	estudiamos
Tú (君)	estudias	Vosotros (君達)	estudiáis
Usted, Él, Ella (貴方、彼、彼女)	estudia	Ustedes, Ellos, Ellas (貴方方、彼ら、彼女ら)	estudian

になります。(少しいややこしいですね)

スペイン語の動詞の活用はある程度規則があるものの、英語と同じようによく使う動詞ほど不規則活用だったりもするので慣れるまでは苦勞するかもしれません。

最後にどのような言語でも努力なしには習得できませんので積極的に取り組んで下さい。